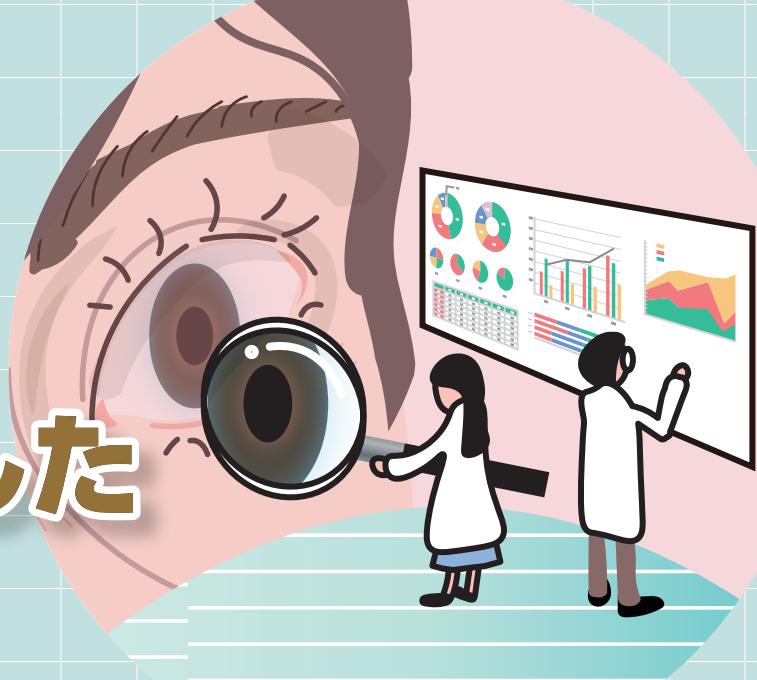


第129回
日本眼科学会総会
ランチョンセミナー7

主流出路を ターゲットとした 緑内障治療



日時

2025年4月17日(木)
12:40～13:40

場所

第7会場 5F ホールD5
(東京国際フォーラム)
〒100-0005
東京都千代田区丸の内3丁目5番1号

座長

井上 俊洋 先生

熊本大学大学院生命科学研究部
眼科学講座 教授



座長のことば

原発開放隅角緑内障では主に線維柱帯-シュレム管流出路(主流出路)の抵抗異常(房水流出能低下)により眼圧が上昇します。主流出路へのアプローチとして、近年、低侵襲な流出路再建術(MIGS)や選択的レーザー線維柱帯再建術(SLT)、さらには配合点眼剤が登場し、病態に応じ我々が治療介入できる選択肢は拡がりました。本セミナーでは主流出路に直接作用するROCK阻害薬、MIGS、SLTにフォーカスし、第一線でご活躍の3名の先生に講演いただき、主流出路への早期治療介入の意義について議論を深めていければと思います。

本総会のランチョンセミナーは事前予約制です。
詳細は 総会HP をご確認ください。

※事前予約は参加登録マイページより可能です。

※事前予約をしていない場合は、当日整理券をご利用いただけます。

共催：第129回日本眼科学会総会



興和株式会社

講演1

主流出路への薬剤介入

～広島大学におけるリパズジル研究より～

演者

水野 優 先生

国立がん研究センター東病院
医療機器開発推進部 医員



講演2

主流出路への手術介入

～MIGSとROCK阻害剤～

演者

杉原 一暢 先生

島根大学医学部 眼科 助教



講演3

主流出路へのレーザー介入

～SLT選択のタイミング～

演者

新田 耕治 先生

福井県済生会病院 眼科部長

